

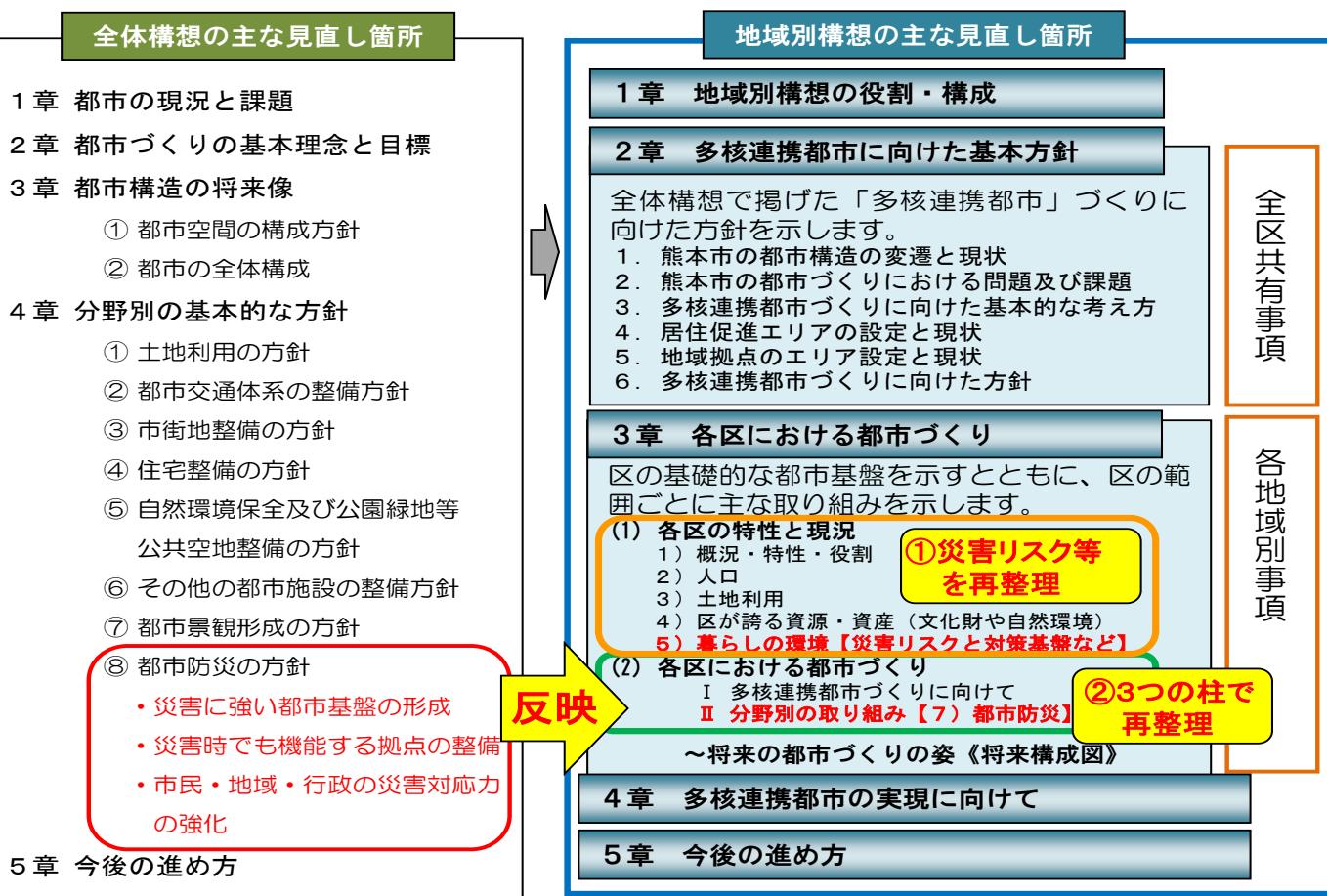
### 1.目的

○地域別構想の見直しを行うにあたり、各計画や各区の取り組みについて整理し、具体的な記載内容について検討するもの。

### 2.主な見直し部分

○全体構想の見直しを踏まえ、特に防災・減災面での見直しを行う。

- ①各区の特性と現況のうち、「災害リスクと対策基盤」を再整理する。
  - ・液状化等の各種災害リスク
  - ・避難所の情報(マンホールトイレや貯水機能付給水管の整備状況を含め記載) 等
- ②各区における都市づくりのうち、各区の「都市防災」の取り組みを再整理する。
  - ・全体構想で整理した「都市防災の方針」の3つの柱
  - ・各区の防災・減災に関する取り組み(各区のまちづくりビジョン等) 等



### 3.課題

- ①「災害リスクと対策基盤」について、各区の災害リスクと避難所情報の整理が必要
- ②各区の「都市防災」について、各区が行っている防災・減災に関する取り組みの整理が必要

### 4.対応(①災害リスクと対策基盤)

- ハザードマップを踏まえ、各区の災害リスクを整理し記載
- 各区の避難所情報を、マンホールトイレや貯水機能付給水管の整備状況を含め整理し記載

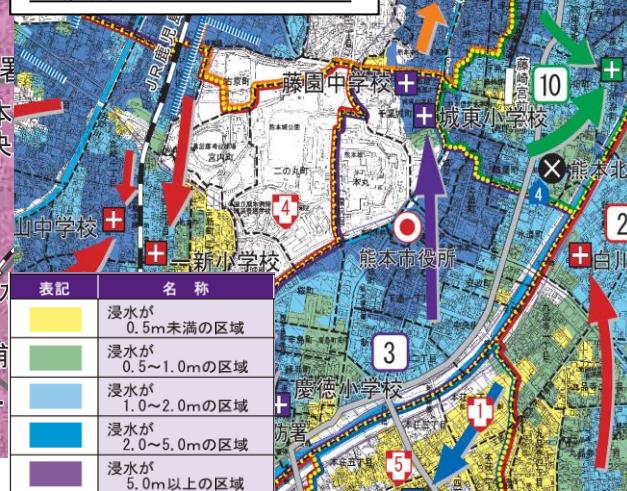
### 災害リスク(中央区の場合)

- 液状化ハザードマップより、多くの地域が液状化の可能性が極めて高い地域となっている。
- 洪水ハザードマップより、白川氾濫時においては、中央区役所周辺で想定される浸水深さが2.0m~5.0mとなっている。

### ○液状化ハザードマップ



### ○洪水ハザードマップ



### 避難所の情報

- 「災害リスクと対策基盤」に各区の避難所について、マンホールトイレや貯水機能付給水管の整備状況を含めて「災害リスクと対策基盤など」に記載
  - (1)マンホールトイレの整備状況
  - (2)耐水機能付貯水水槽の整備状況

### (1)マンホールトイレの整備状況(平成29年1月末時点)

- 【中央区】5中学校
  - 白川中学校 (H27.7竣工)
  - 京陵中学校 (H27.11竣工)
  - 竜南中学校 (H28.9竣工)
  - 帯山中学校 (H28.10竣工)
  - 江原中学校 (H28.12竣工)
- 【東区】3中学校
  - 西原中学校 (H27.11竣工)
  - 長嶺中学校 (H28.12竣工)
  - 湖東中学校 (H28.12竣工)
- 【南区】2中学校
  - 下益城城南中学校 (H27.11竣工)
  - 託麻中学校 (H28.10竣工)
- 【西区】1中学校
  - 井芹中学校 (H28.9竣工)
- 【北区】2中学校
  - 北部中学校 (H28.9竣工)
  - 清水中学校 (H28.10竣工)



平成28年4月14日、16日の熊本地震発災時までに、4校(計:20基)の整備完了

# 第2次熊本市都市マスタープラン(地域別構想)の見直しについて(案)

## 5.対応(②各区の都市防災)

- 全体構想で見直した都市防災の方針に沿って、「災害に強い都市基盤の形成」「災害時でも機能する拠点整備」「市民・地域・行政の災害対応力の強化」の3つの柱で再整理する。
- 各区の防災・減災に関する取組みを整理し反映させる(復興ミーティング事業プランなど)

### 復興ミーティング事業プラン

- 地域ニーズを的確に把握するとともに、市民・地域との協働により復旧・復興を進めることで、震災復興計画に掲げる「市民力・地域力・行政力を結集し、安全・安心な熊本の再生と創造」を実現するため、「**地域力を高める取組み**」をテーマに、**市民参加型のワークショップ「復興ミーティング'17」を開催**(H29.5.27及びH29.7.22の2回実施)。
- 参加者からいただいた様々な意見や提案をもとに、各局・区で具体的な取組み案を整理し、**11の事業プランを作成**。⇒**現在、事業化等に向けた検討・精査を進めている。**

#### 【事業プラン一覧】

- No. 1 地域のつながり・集いの場づくり
- No. 2 「おたがいさま」で支え合う地域づくり
- No. 3 地域と企業・大学・その他団体との連携
- No. 4 地域の声をまちづくりに活かす仕組みづくり
- No. 5 SNSを活用した地域の情報共有ツールの構築
- No. 6 自治会等による地域活動の情報発信
- No. 7 地域の防災意識向上
- No. 8 避難所等における防災機能・体制の強化
- No. 9 災害に強い道路・交通網の整備
- No. 10 まちの賑わい・魅力発信
- No. 11 地域経済の活性化

◆ 具体的な事業案の内、都市マスタープラン(地域別構想)に反映した内容等を以下に抜粋。

No. 5 SNSを活用した地域の情報共有ツールの構築		行政の災害対応力の強化
L I N E を活用した情報発信・収集	・市のL I N E公式アカウントを開設し、地域や行政サービスのきめ細かな情報発信等を行うとともに、アンケートシステムなどを活用し地域の声を集める。	
No. 6 自治会等による地域活動の情報発信		地域の災害対応力の強化
町内掲示板の設置・活用促進	・町内掲示板の未設置地域への設置や老朽化した掲示板の修繕補助を行い、掲示板による地域の情報発信を促進する。	
No. 7 地域の防災意識向上		地域の災害対応力の強化
① 地域防災活動支援メニューの作成	・避難所運営委員会結成促進と併せて、地域で取り組める防災活動のアイデアやツール等をメニュー化し地域や学校等が手軽に防災活動に取り組めるよう支援。	
② 防災教育の推進	・学校等で活用できるような実践型の防災ゲームなど、小学生・中学生向けの防災教育ツールを整理する。	
③ 防災士資格取得支援制度の案内	・熊本県で実施している防災士養成講座(「火の国ぼうさい塾」)等を広く紹介し、地域の防災リーダーの育成につなげる。	
④ 防災体験型キャンプの実施	・小学校高学年を対象に防災体験型キャンプを実施し、防災リーダーを育成する。	
No. 8 避難所等における防災機能・体制の強化		行政の災害対応力の強化
① 小・中学校や公園等における防災機能強化	・避難所となる小・中学校等にマンホールトイレ等を整備するほか、トイレの洋式化(多目的トイレ含む)や貯水機能付給水管の整備を推進する。	
② 中心市街地における防災体制強化	・桜町・花畑地区や熊本駅周辺地区における防災機能強化を図るとともに、これらの地区における防減災の体制づくりに向けた取組を進める。	
③ 物産館・道の駅の防災機能強化	・一時避難場所である火の君マルシェ及び道の駅すいかの里植木の防災機能を強化するとともに、平時は防災学習や地域交流の場として活用。	
No. 9 災害に強い道路・交通網の整備		災害に強い都市基盤の形成
① 緊急輸送道路等の整備	・緊急輸送道路等の重要な路線について、電柱や電線の地中化を進める。橋梁の耐震補強を進める。災害にも強い道路ネットワークを形成する。	
② 市電の延伸等の検討	・公共交通の災害対応力の向上の一環として、市電延伸の検討に取り組みとともに、市電の走行位置をモニターで発信するなど利便性の向上に取り組む。	



H29.5.27開催「復興ミーティング'17 春」において、参加者が意見を出し合っている様子。